

最優秀賞 [個人]

板谷 征功さん (早良区)

リサイクルの輪を広げて、深めていきたい。

校区内や室見川の清掃活動を行ったり、原小学校で出前講師を務めたりもしていますが、一番の仕事は、原公民館前の校区紙リサイクルステーションと、校区内2か所の紙リサイクルボックスの管理です。朝夕に鍵を開閉し、地域の方が持ってきた資源物を整理整頓し、業者さんへ引き渡すのが仕事ですが、年末年始やお盆などの数日を除けば「年中無休」です。一番身近なリサイクルの場所が「持ってきたのに開いていない」では、せつかくの気持ちと行動が無駄になってしまいます。運べないお年寄りの家に自転車で取りに行くこともあります。年々、地域の方々の環境問題への関心も高まり、平成19年は120tもの資源物を回収し、有効活用することができました。リサイクルの意識が皆さんに浸透して、生活の中で当たり前になって欲しいというのが私の願いです。こうして身体を動かしているおかげで健康も維持していますので、まだまだ頑張るつもりです。

(年齢:68歳 活動期間16年)



校区紙リサイクルステーションの管理



撤去した放置自転車の管理

違反広告物除去



室見川水系清掃

最優秀賞 [市民団体]

和白干潟を守る会 (東区)

すばらしい干潟の自然を、未来に残したい。

博多湾の和白干潟で、20年にわたって保全活動をしている会です。和白干潟は、ミヤコドリなど水鳥の東アジアの渡りの貴重なルート上にあり、貝やカニ、ゴカイなどの小さな生き物たちが豊富に棲む、国際的に重要な湿地です。

このすばらしい干潟を未来に残したいという思いから、自然観察会を実施しています。平成18年度は、保育園・小中学校・高校などからの依頼を受けて計14回817名の子どもたちと参加者の皆さんに、干潟の大切さを伝えることができました。また、地域・企業・学生など有志の皆さんとともに、海から流れつく人工ごみやアオサを清掃するクリーン作戦、水質や鳥類をはじめとする生物の調査も定期的実施。年4回発行する和白干潟通信やパンフレット、ホームページでは、いまの干潟の状況についての情報を提供しています。

自然との共存を考える時代になりました。市民の皆さんと、次の目標である水鳥と湿地の保全に関する国際条約「ラムサール条約」の登録をめざしながら、今後も保全活動を続けていきます。

(活動期間20年)



水質調査



自然観察会



和白干潟クリーン作戦



最優秀賞 [事業者]

西日本鉄道株式会社
自動車事業本部 (中央区)

地域の暮らしを支えながら、CO2削減を。

自動車事業では、グループ全体で3000台を超える乗合バスを保有し、1日に約78万人の利用があります。地域の生活を支える足としての役割を果たしながら、CO2排出量、および燃料消費削減への取り組みとして、昭和33年から始まったアイドリングストップに代表されるエコドライブを徹底しています。

平成18年には、市内の1400台の路線バスに「デジタルタコグラフ」を導入。燃費を低下させる急発進や急加速、急減速も含めて、走行状況を記録し、運転を総合的に評価しています。この導入によって、運転士のエコドライブに対する意識がいつそう高まり、導入初年度の平成18年度は、前年比で5.8ポイントの燃費向上、3400klの軽油の使用量の節約につながりました。平成19年度は全車両に設置が完了する予定であり、さらなるCO2排出量削減が見込まれます。

また、本社事務所内の個人用ごみ箱を撤去し、ごみ減量を推進するとともに、毎月14日を「清掃奉仕活動の日」として本社周辺の清掃を15年にわたり実施。今後も、環境への取り組みを継続的に実施していきます。



毎月14日の「清掃奉仕活動の日」



デジタルタコグラフ



最優秀賞 [学校]

福岡県立柏陵高等学校 (南区)

自然と触れ合い、感性を育み、環境を学ぶ。

普通科環境科学コースは平成9年に開設されました。生徒たちは少人数教育で、学校近くの片縄山・油山の豊かな自然林や溪流、および、和白干潟等でのフィールドワーク、あるいは、世界自然遺産の屋久島やラムサール条約で保護指定された釧路湿原での宿泊研修など、自然とじかに触れ合う活動を積み重ねていきます。そこで得た体験を基に、環境に関する知識や関心を高め、問題解決能力、山や土の中が透けて見えるような深みのある表現力も養っていきます。また、生徒が環境に関する新書を読み、紹介・解説する活動も実施しています。

こうした環境学習による成果は、地域や地元の小中学校の生徒たちへの出前授業で還元します。近隣の大学との交流活動も活発ですが、平成18年には第7回全国高校生自然環境サミットの主催校となり、環境を学ぶ高校生のネットワークが日本全国へと広がりました。

環境との調和をめざすこれからの社会で活躍する人材を世に送り出すため、さらなる充実を図るとともに、成果を広める活動を展開させたいと考えます。

(活動期間11年)



指導担当の中西先生



民間から講師を招いての出前授業



樋井川でのごみ回収作業



羽黒神社での柏原小学校との交流事業



回収後の分別と質量測定